武光ヘルパーステーション　田中　悠輝

「二度と経験したくはない事ですが」

新型コロナウイルス感染症が５類へと区分が移行されて３カ月が経ちました。マスクの着用も個人の判断となり、外ではマスクを着用していない人の姿が多く見られます。その光景を見ると以前の日常が少しずつ戻ってきたと嬉しく思います。

ヘルパーステーションの管理者になり６年が過ぎ、その半分の年月が新型コロナに振り回されてきました。利用者はもちろん職員とその家族にも感染対策の徹底をお願いし、体調の変化に注意する日々が続きました。確かに大変でしたが、得るものもあったと思います。自身の感染症への知識や経験値が増え、利用者の体調不良時の判断・対応も以前と比べ早くなりました。また、感染症予防や体調管理に対する意識も高くなりました。そして何よりコロナ禍を乗り切った事でヘルパー同士のつながりが強くなり、お互いをカバーし合うことで安定したサービスを提供出来ています。

今回の長期に亘る感染症との戦いで、自分を含め事業所全体のレベルアップに繋がったことは、「苦労した事は無駄ではなかった。」と思える事の一つとなりました。